

「働く」をテーマに講演！ 女子聖学院中学校で出前授業を実施

セブン-イレブン・ジャパン

2017/1/16

セブン&アイ HLDGS.

CSRアクション

セブン-イレブン・ジャパンは、2015年から「読売教育ネットワーク」に参加して、全国の小・中学校で出前授業を開催しています。

11月には東京都北区の女子聖学院中学校で「働く」をテーマにした授業を行い、3年生約130人が出席しました。授業では学生と社会人の違いや、日本で起きている社会環境の変化に対応して、セブン-イレブン・ジャパンが「近くて便利」なコンビニエンスストアを目指して様々な取り組みを実施していることや、子育て中の社員が働きやすい職場環境を整備していることなどについてご紹介しました。

この授業を通じて、学生の皆さんが「働く」ことについて興味を持ち、社会人になるということを考えるきっかけになればと思います。



セブン-イレブン・ジャパン
ダイバーシティ推進部
吉野 早央里

講演の様子



参加した中学生の感想

書かれている情報だけでは分からないことが、実際に働いている人の話を聞くことで、理解できました。

働くことがイメージでき、仕事を考える視点が変わりました。



関連情報

- 女子聖学院中学校での講演の様子については「読売教育ネットワーク」でも発信されています。(2016年11月25日)

<http://kyoiku.yomiuri.co.jp/demae/contents/-.php>

- セブン-イレブンが目指す「近くて便利」とは

<http://www.sej.co.jp/concept/>